

中央銀行制度の経済学

折谷 吉治著

日本銀行から大学教員に転じた著者が、中央銀行の基本構造や主な機能について、経済理論を駆使しながら詳細に解説している。各国の金融政策に注目が集まる中で、中央銀行の組織や日常の銀行業務、決済システムでの役割など見落とされがちな部分に焦点を当てた。「中央銀行も一つの組織である」との認識に基づき、ガバナンス（統治）上の課題を示す。公共的な色彩が濃い他の組織のガバナンスを論じる際にも参考になりそうだ。（学術出版会・7200円）